緊急通報装置
（KS-55mini 4G）
取扱説明書

■機能説明

■一般仕様書

■結線図

■外観図

2020 年 2 月

【販売会社】

創業昭和５６年　官公庁指名業者
防犯とＩｏＴの設計・施工・販売・保守

トーカイセキュリティ株式会社

■ 神戸本社　〒653-0037 神戸市長田区大橋町3丁目1番13号
TEL 078-643-1901　FAX 078-643-1902

■ 堺　〒590-0078 堺市堺区南瓦町1番19号　グランビルド堺東507
TEL 072-232-6440　FAX 072-232-6430

■ 名古屋　〒464-0851 名古屋市千種区今池南29番24号　川島第１ビル
TEL 052-251-8748　FAX 052-733-0375

ホームページ

URL：http://www.tokaisecurity.net　Mail：info@tokaisecurity.net

KS-55mini4G 機能の説明

１．電話をかける

受話器を上げると４GLTE 回線に接続され、あらかじめ設定された通報相手先に電話をかけます。電源灯が点滅を開始し、着信すると相手と会話が出来ます。

受話器を置くか相手が電話を切れば、電源灯の点滅表示が点灯表示に変わり、通話終了となります。

２．出入力３接点基盤を使用する　※オプション

２－１．出力リレーを制御する（遠隔操作）

通報相手先とのインターホン会話中に、通報相手先側の電話機のダイヤルキーを押すと出力リレーが動作し、ワンショット（０．７ｓ）の A 接点で２種類の制御信号が出力されます。この動作は何度でも行うことが出来ます。

２種類の制御信号及びダイヤルキーについては以下の通りです。

○リレー１　・・・　ダイヤル　「７」

○リレー２　・・・　ダイヤル　「９」

※この機能をご使用の際は、通報相手先にドコモの端末（携帯電話・スマートフォン）はご利用になれません。

※固定電話を通話相手先に設定する場合、お使いの機種の設定等によりこの機能をご利用になれない場合がございます。（お使いの機種の取扱説明書などで DTMF 信号のやり取りが可能かご確認ください。）

※お使いの機種及び現地の電波状況により DTMF 信号のやり取りが不安定な場合がございます。その際はリレーが動作するまで何度かお試しください。

２－２．入力信号を使用する

精算機等の本機と繋いだ機器からの異常信号が入力されるとあらかじめ設定された通報相手先番号へ音声にて通報します。

上記出力リレーとの組み合わせで３接点まで使用可能です。（別紙参照）

異常入力は３つまで取ることができます。その際の音声ガイダンスは以下の通りです

SW1「通報１番」　SW2「通報２番」　　SW3「通報３番」

３．通報相手先の切り替え　※オプション

専用ケーブルを本体につなぎ、もう一方をスイッチもしくはタイマーに接続する事で、スイッチ OFF の場合は第一通報相手先、ON の場合は第二通報相手先へ電話をかけます。

おまかせコール KS-55mini4G 一般仕様書

1　使用電源　PSE,UL,EC 規格認定　※スイッチング AC アダプター使用
①入力電圧　　AC100V　±10%　（単相）
②出力電圧　　DC5V　（最大　2A）
③周波数　　50/60 Hz±1Hz
④接地規定　　D 種接地（接地抵抗　100Ω以下）

2　消費電力
①待機時　　約 3VA 以下（約 3W 以下）
②動作時　　約 5VA 以下（約 5W 以下）
③過電流保護　内部スイッチング電源ヒューズ（１．６A）及び過電流保護回路による。

3　絶縁抵抗
DC500V 絶縁抵抗計で測定して 5MΩ以上であること。
ただし、電源端子と筐体間で計測。

4　絶縁耐力
AC1000V　１分間印加して異常なき事。ただし、電源端子と筐体間。

5　瞬停保証
10ms 以下の瞬停は検知しない。

6　停電時の処置
①待機中の停電は、再通電により自動復帰する。
②動作中の停電は、通話中は強制終話となり、その後再通電により自動復帰する。

7　環境条件
①温度　　0～40℃
②相対湿度　　35～85%　（ただし、結露しないこと）
③保存温度　　-15～50℃

6　防水性
筐体は屋内用なので対応しない。
防水型プラスチックボックス内に設置する事で保護する。

7　防塵性
通常の塵などによる故障がないように配慮した構造である。

8　設置方法
プラスチックボックス内に入れて、筐体底部を 2 ヶ所固定する。
（推奨プラスチックボックス：日東工業 P16-235CA）
シールド効果のあるボックスは不可。

9　設置場所
屋内または屋外（ただし屋外設置の場合は、上部にビニールテント等を設置し、装置に直接雨が降りかからない様配慮する）

ＮＴＴドコモ 4GLTE の電波が十分に得られる環境であること。

KS-55mni4G ディップスイッチの機能

本機はオプション基盤を取り付けることで、遠隔出力（最大2接点）と異常入力（最大3接点）の機能を使用できます。

本体内基盤のディップスイッチとオプション基盤のディップスイッチの組み合わせで、下記のようなパターンを組むことが出来ます。

【機器本体内基盤のディップスイッチのパターン】

	SW1	SW2	SW3		出力1	出力2	異常入力1	異常入力2	異常入力3
なし	OFF	OFF	使用しません	⇨	×	×	×	×	×
パターン1	OFF	ON			○	○	○	×	×
パターン2	ON	OFF			×	○	○	○	×
パターン3	ON	ON			×	×	○	○	○

【オプション基盤内のディップスイッチのパターン】

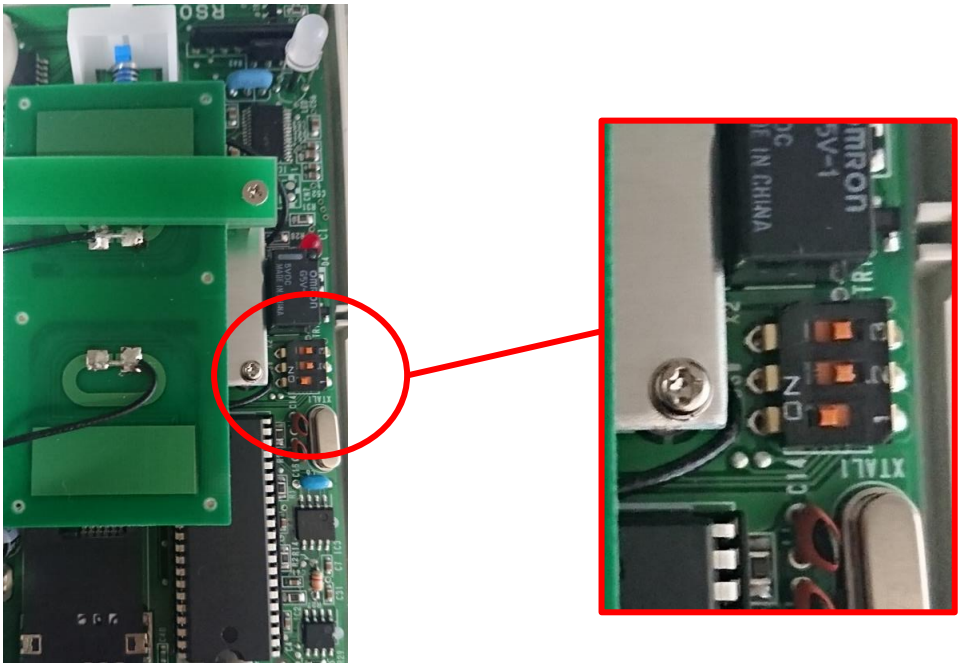
	SW1	SW2	SW3	SW4
なし	OFF	OFF	OFF	OFF
パターン1	ON	OFF	ON	OFF
パターン2	OFF	ON	ON	OFF
パターン3	OFF	ON	OFF	ON

※例：上記の機器本体内のパターン1の場合は、オプション基盤のスイッチパターンも1の設定にしてください。

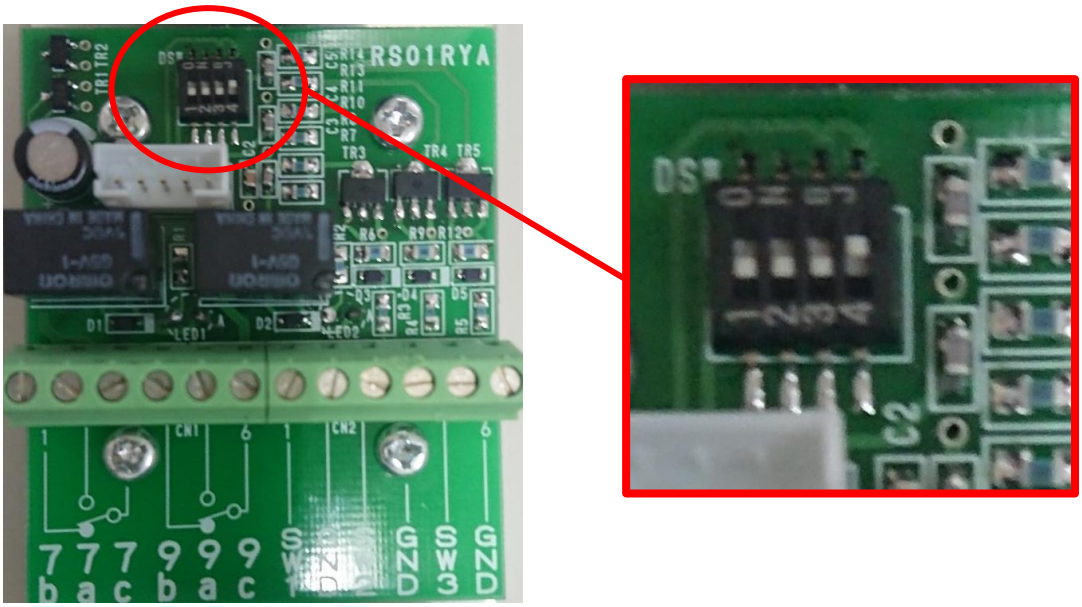
【オプション基盤内　リレーの性能】

・AC125V　0.5A　／ DC24　1A（オムロン製　G5V-1DC5V）

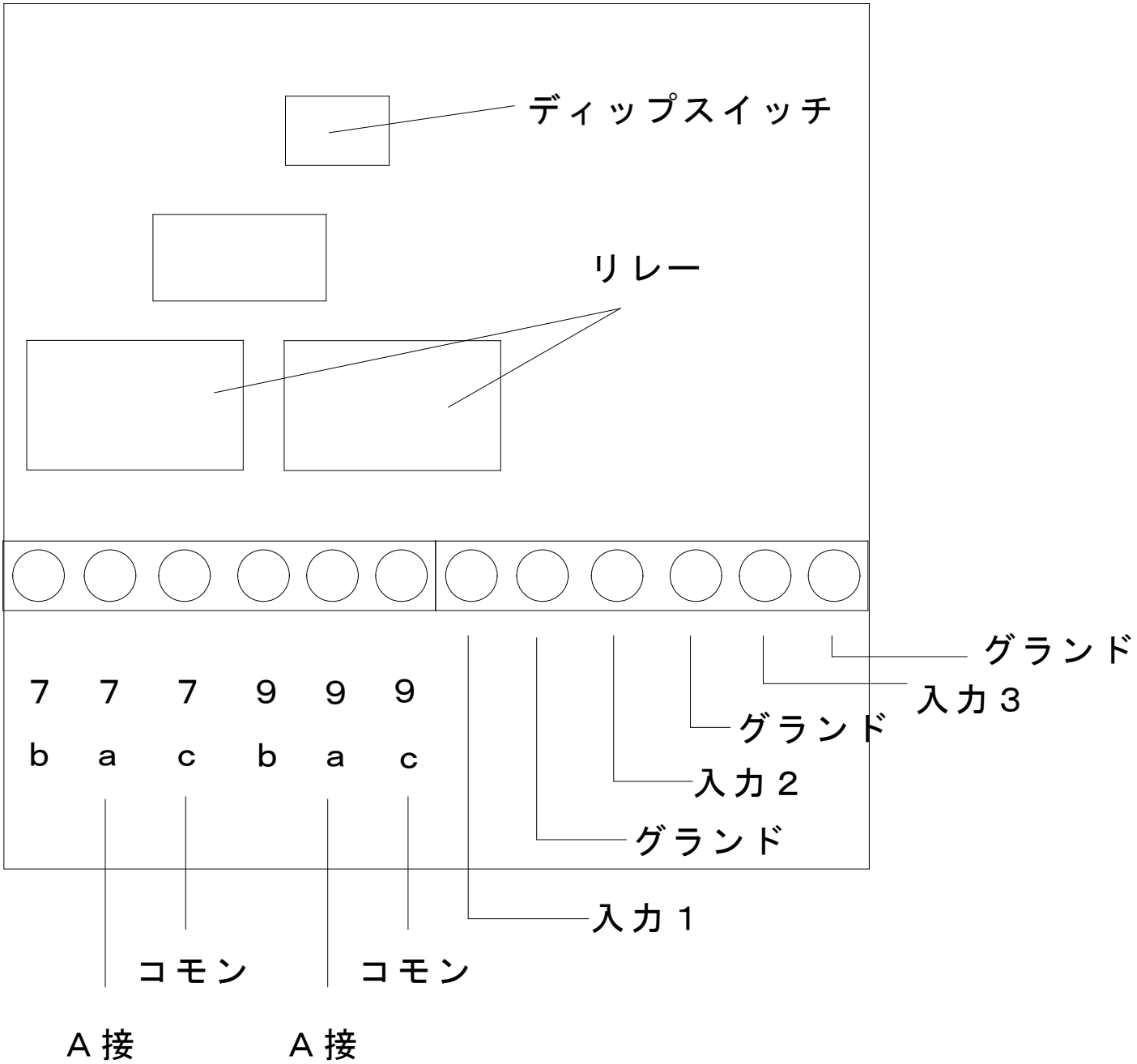
【機器本体内基盤のディップスイッチ】



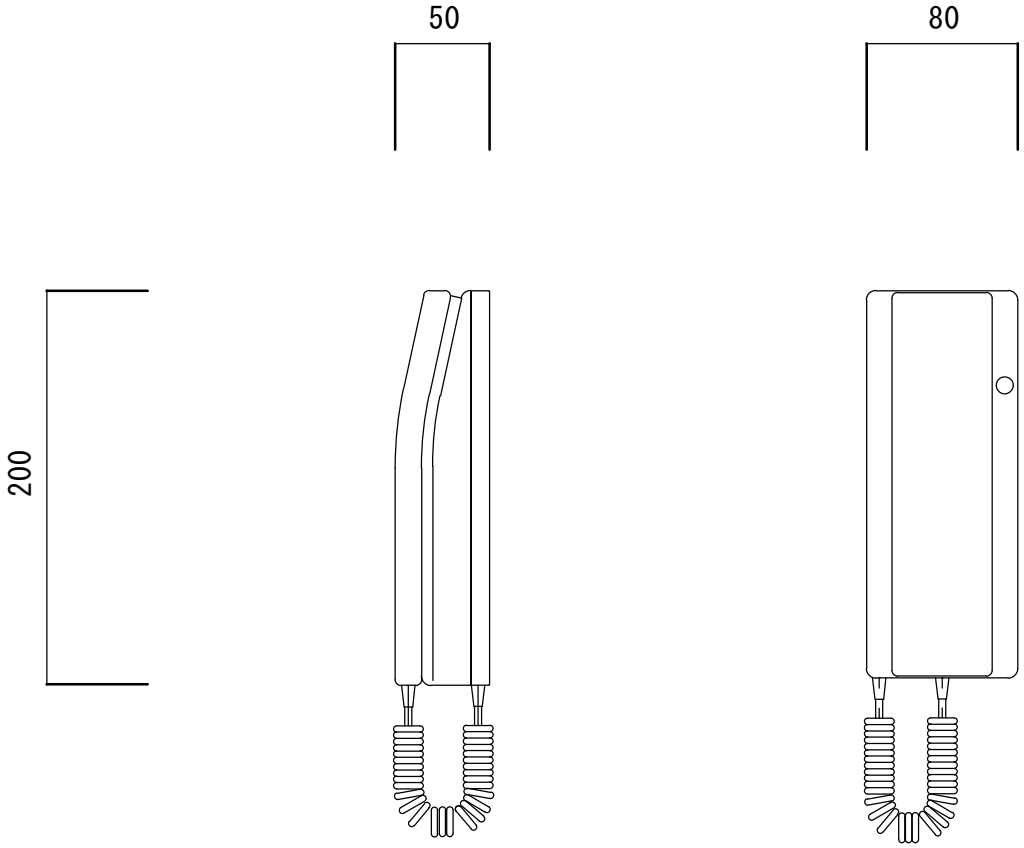
【オプション基盤内のディップスイッチ】



KS-55mini4G ｵﾌﾟｼｮﾝ基盤結線図



おまかせコール　ＫＳ－５５mini４Ｇ



仕　　様

電　　源	ＡＣ１００Ｖ±１０％　５０／６０Ｈｚ
消費電力	５Ｗ以下
材　　質	外装：アクリル樹脂
形　　状	屋外壁付型
機　　能	音声通報機能：受話器を上げると、予め設定された電話番号へ通報する。

緊急通報装置（KS-55mini）
通報相手先設定方法

１、KS-55mini本体にドコモのUIMカ ードが挿入された状態で、電源を入れてください。

※本体右上部のLEDランプが点灯すると電源ON状態となりますが、点灯するまでに20秒ほどかかります。

２、UIMカードの番号と通報相手先を用意してください。

３、お手持ちの携帯電話またはスマートフォンのショートメールで下記の様に変更したい通報相手先をKS-55miniの番号に送信します。

（例）

@@@0926326610*0926326610*0926326610

「@マークを3つ」「通報相手先」「＊（アスタリスク）」「通報相手先」「＊」

「通報相手先」

の順で入力し送信してください。

４、メールが正常に送信されますと、本体右上部のLEDランプが一瞬消灯し、再点灯します。

５、受話器を取り、通報相手先に正しく通報されるかテストしてください。

☆新型KS-55/KS-55mini　通報先変更設定ライトメール電文

ヘッダ			第1通報先番号										アスター	第2通報先番号		
@	@	@	0	9	0	3	0	7	7	0	7	8	3	*	0	9	2
6	3	2	6	6	1	0	*	0	9	2	6	2	7	0	9	2	2
			第2通報先番号				アスター				第3通報先番号						

注意事項

1.電文は半角文字で入力のこと。　（全角が1文字でも入ると、受信できない）

2.設置場所に係員がいること。

☆新型KS-55mini　通報先変更設定方法

1. 電源を切る。
2. 本体裏側の端子を短絡する。
3. ハンドセットを上げる。
4. 電源を入れる。
5. ライトメール待ち受け完了。
6. ライトメール発信
7. ライトメール受信　（正常完了の場合、117へ電話をするので、ハンドセットの音声で確認のこと。
8. 本体裏側の端子の短絡を外す。

☆新型KS-55　通報先変更設定方法

1. 電源を切る。
2. DIP-SWの5番をONにする。
3. 電源を入れる。
4. ライトメール待ち受け完了
   （LEDランプが点灯する）
6. ライトメールを発信する。
7. ライトメールを受信する。
   （正常完了の場合、LEDランプが点滅する。）
8. 電源を切る。
9. DIP-SWの5番をOFFにする。
10. 電源を再度入れる。